

UMC-Japanese Ministry  
11 Highgate Terrace  
Bergenfield, NJ 07621 USA

# 新サーキットライダー2009年11月号



**U**nited **M**ethodist **C**hurch - **J**apanese **A**merican **M**inistry

合同メソジスト教会日本語ミニストリー

c/o The Church of The Good Shepherd

New Bridge Road & South Prospect Avenue, Bergenfield, NJ 07656

Pastor Jun Yoshimatsu 牧師：吉松 純

Church: (201) 385-4100, Parsonage: (201) 338-2744 Homepage: [www.umc-japan.org](http://www.umc-japan.org)

## 感謝の心と貧しい心根

自分は正しい人間だとうぬぼれて、他人を見下している人々に対しても、イエスは次のたとえを話された。「二人の人が祈るために神殿に上った。一人はファリサイ派の人で、もう一人は徴税人だった。ファリサイ派の人は立って、心の中でこのように祈った。『神様、わたしはほかの人たちのように、奪い取る者、不正な者、姦通を犯す者でなく、またこの徴税人のような者でないことを感謝します。わたしは週に二度断食し、全収入の十分の一を捧げています。』ところが、徴税人は遠くに立って、目を天に上げようとせず、胸を打ちながら言った。『神様、罪人のわたしを憐れんでください。』言うておくが、義とされて家に帰ったのは、この人であって、あのファリサイ派の人ではない。だれでも高ぶる者は低くされ、へりくだる者は高められる。」(ルカ18:9-14)。

時折、Eメールやアメリカのクリスチャン・ニュースや教会関係の月報等で(もしかしたら日本でも?)「世界では20億人以上の人が平均より低い栄養の食事をしています。毎00分ごとに1人病気で亡くなっています。アメリカでは10人に1人仕事を失っています・・・もしあなたがこのどれにもあてはまらなければなら、神様に感謝して生きましょう。」のような記事やエッセーが届きます。時にとても美しい写真付きで。

そのような文を読むと誰でも「なるほどそうだな、自分は幸せなんだ。もっと神に感謝しなければ。」と思います。このようなメッセージは一見、人々に「もっと感謝の心を大切にしましょう。」と訴えているように思えます。が、私はこのような文を読むと何だかやり切れない思いになります。それは私の心が捻(ひね)くれているからだけではないと思います。ここには「誰かと比べて自分は幸せなんだ。」「下には下がある。」「今の自分はまんざら捨てたものでもない」と思い込もうとする「貧しい心根」「卑しい心」が潜んでいます。だから後味が悪くなるのです。

確かに今飢えている人が世界に何百万人もいるのは事実です。また毎日のように何十、時に何百という人が戦争や内戦で犠牲になっている。

これも事実です。アメリカでは高い医療保険を持つ事ができず、怪我をしても病気になっても、治療費が払えない人が400万人以上いる(これは数年前の統計ですので今は増えているかもしれません)。これらは全て現実です。しかしその数字、統計を見て、「自分はまだ仕事もあるし、寝る場所もある、食べていける、だから幸せなんだ。愚痴は言うまい。」というのはあまりにも情けない心持ちではありませんか。このような思いで神に感謝をする人は、もし自分が不況で解雇されたら、収入を失い、住んでいるアパートから出なくてはならなくなったら、果たしてそれでも感謝できるでしょうか?

冒頭の引用はルカによる福音書のみ書かれているイエスのたとえ話です。ファリサイ派は新約聖書の中ではやたらとイエスを敵対し、言い掛かりをつけ、最後にはイエスを殺すほど憎み、イエスを十字架に追い込んでいった人々です。しかし神殿に仕えた祭司職を今の牧師や司祭とするなら、ファリサイ派は信徒リーダーとしてユダヤ教の教えを深く学び、律法学者になったり、議員を多く輩出した、言わばユダヤ人社会の名士でした。今日のラビ(ラバイ)の原型というか先駆けのような人々で、一般民衆から尊敬されていました。

人から褒められたり、ちやほやされると人は誰でも奢り高ぶってしまう。人間の性(さが)です。このファリサイ派の人も御多分に洩れず、うぬぼれて人を見下していました(9節)。そして自分がいかに正しい者であるかを並べ立て、挙句の果てに、少し離れた所から祈りを捧げていた徴税人を見下して「このような者でないことを感謝します。」と言いました。彼の祈りも、人と自分を比べて優越感に浸り、そこからでてきた感謝の言葉に過ぎません。言わばこのファリサイ派の男は貧しい心根の代表格です。

一方の徴税人ですが、この徴税人とは今日というなら税務署の役人ですが、紀元1世紀前半のイスラエルはローマ帝国の支配下にあり、ヘロデ大王とその息子のヘロデ王2代に渡り傀儡(かいらい)政権で、ローマに媚びへつらい、税金をローマに納めていました。元々イスラエルには神への捧げ物の義務(これを税と同等と考える人もいるようですが)はありましたが、国家への税という制度はなく、税制はローマやそ

の前のアレキサンダー大王のギリシャによるイスラエル支配時にもたらされた帝国主義の産物です。人々はユダヤ人でありながらローマ帝国の為に税金を集め、時に過剰に取り立て、自分の懐を肥やしていた徴税人を罪人と見なし、忌み嫌っていました。このたとえの中にでてくる徴税人は、そんな自分を卑しめ、どのような事情があるにせよ、徴税人になった自分を深く悲しみ、神に憐れみ（赦し）を請いました。彼は人と比べるのではなく、自分の内面を見つめ、心の底から、神の憐れみを願ったのです。

私たちが感謝をする時、また赦しを請う時、「人と比べて恵まれている」からとか、「人と比べて悪いことをしてしまった」とか、「世間に顔向けが出来ない」などと「世間体を気にする」のではなく、心から今の自分を、与えられた全てを感謝できるようになりたいものです。また人に言われたからとか世間に顔向けが出来ないとかではなく、神と向き合いへりくだる。と口で言うのは簡単ですが、いざそのように生きようとすると何とも難しい。だから私たちは神の深い憐れみによって生かされていることをもっと知るべきなのでしょう。

吉松 純

#### 礼拝予定：

##### 11月

1日：NY日本語教会、ユニオン日本語教会と合同半日修養会。

8日：礼拝、午後2時より、牧師館にて。午後4時より、グッドシェパード教会60周年記念、聖歌隊フェスティバルと夕食会。

15日：礼拝、通常通り午後3時より。Jr. 教会、切手の整理。

22日：礼拝、Jr. 教会。感謝祭の飾り付け。

29日：礼拝、Jr. 教会、待降節について学ぶ。

##### 12月

6日：礼拝、聖餐式、Jr. 教会、待降節の飾りつけ（英語の教会と合同）。

#### 報告：

去る10月11日、日本から13年ぶりに当地に来られた本間眞由有美姉が礼拝に出席されました。本間姉は95年にパークリッジの日本語礼拝、Jr.教会にお子さん達と来られ96年に帰国されました。帰国後、関西学院の神学部で学ばれ補教師（副牧師）の按手を受けられました。今回、御主人で大学教授の均兄がサバティカルでミシガン州に短期研究留学され、一緒に来られました。お

二人の滞在が祝されますようお祈りいたします。

#### 行事、プログラム案内：

- \* 11月1日、昼よりNY日本語教会にて、NY日本語教会、ユニオン日本語教会、グッドシェパードUMC日本語ミニストリーが合同で半日修養会が持たれました。良い学びの時となりました。感謝いたします。
- \* 11月8日、礼拝後、午後4時よりグッドシェパード教会60周年記念行事、聖歌隊フェスティバルと夕食会があります。日本語ミニストリーも招待されています。皆様、是非お出かけください。詳細は別ページをご覧ください。
- \* 22日（日）毎月第4日曜日の礼拝後、SMJに協力し、高校生、ユースの聖書の学びをします。ルカによる福音書を学びます。お友達をお誘いください。
- \* 25日（水）合同感謝祭礼拝。詳細は3ページをご覧ください。
- \* 26日（木）日本語感謝祭礼拝。3ページをご覧ください。

お祈りと献金の御協力をお願いします。チェックのあて先はUMC-JAとし、どのプログラムに献金したいか明記してお送り下さい。

- \*自然災害被害者の為
- \*サマーキャンプの為
- \*2010年東部日本語教会、伝道所合同ファミリーキャンプの為
- \*ハーベスト・タイム放映の為、献金、お祈りのご協力をお願いいたします。
- \*消印のついた切手の周り1センチの余白を残して切り取って下さい。切手は日本キリスト教海外医療協力会（JOC S）に送ります。JOC S海外に医療関係者を送ると共に医療関係者の育成をしています。
- \*ケニアの恵まれない子供達やエイズの患者さんの為に特別献金をしています。
- \*パターソンのSt. Philip伝道と社会福祉団体CUMAC/ECHOの為に。どちらもメソジスト教団に属し、貧しい人達の為に炊き出しと路傍伝道をしています。

#### 教会の住所：

##### UMC-Japanese Ministry

The Church of the Good Shepherd, UMC.  
326 New Bridge Rd. Bergenfield, NJ 07621

英語オフィス(201) 385-4100

ホームページ：<http://umc-japan.org>

牧師館：(201) 338-2744

吉松牧師 [junyoshim@optonline.net](mailto:junyoshim@optonline.net)

教会学校担当：吉松 泉姉

[izumi.yoshimatsu@gmail.com](mailto:izumi.yoshimatsu@gmail.com)

# 感謝祭のご案内

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。

どんなことにも感謝しなさい。これこそ

キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。

テサロニケの信徒への手紙一 5 : 16 - 18

ここアメリカでは不況で失業率が10パーセントと今もって大変な状況が続いていますが、いつでもどのような時にも神に感謝を捧げたいと思います。今年も感謝祭を迎える月となりました。感謝祭特別礼拝とプログラムをご案内いたします。どうぞこの機会に共に礼拝を守り、神への感謝をお奉げ下さい。

\* 11月25日(水) 午後7時30分。St. John the Evangelist Roman Catholic Church on S. Washington Ave. Bergenfield, NJ 07621 においてエキュメニカル感謝祭合同礼拝(英語、ヘブル語)をします。バーゲンフィールドの全教会、ユダヤ教寺院が協力しアメリカならではの礼拝を持ちます。宗教、宗派の違いを超え、礼拝を共に守り感謝祭を祝います。礼拝後、コーヒー、ソフト・ドリンク、デザートを頂きながら親睦会が持たれます。どうぞご参加ください。

\* 11月26日(木) 午後5時。グッドシェパード教会にて、日本語感謝祭礼拝。缶詰、パスタ、保存のきく食べ物を献品し、神様と隣人に感謝を奉げる礼拝です。礼拝後、牧師館にて午後6時より持ち寄りでの祝会があります。教会で七面鳥は用意する予定です。皆さん何か一品お持ち下さい。

\* 同封しました感謝祭献金の封筒は被災地に送ったり、キャンプや修養会の為、また子供たちのプログラムを含む教会運営に遣います。チェックをお送りくださる方は以下のあて先をお願いします。チェックのあて先は UMC-JA でお願いいたします。

**The UMC-Japanese Ministry** 11 Highgate Terrace, Bergenfield, NJ 07621

(201) 385-4100 (English) (201) 388-2744 (牧師館、FAX)

ホームページ : [www.umc-japan.org](http://www.umc-japan.org)

牧師 E-mail : [junyoshim@optonline.net](mailto:junyoshim@optonline.net)